

キヌゲハキリバチ *Megachile kobensis* Cockerell

【選定理由】

河川敷の改修によって生息場所を失いつつあり、発生個体数が少なくなった。

【形態】

体長 11mm 内外。体は黒色で全体に白色毛を密生するので、白っぽい色調となる。腹部に白色毛の帯状紋を持つ。♂の触角末端節は団扇状に広がり、他種と容易に区別できる。コウベキヌゲハキリバチとも言われる。



♂. 犬山市, 2007年8月, 大草伸治 採集

【分布の概要】

【県内の分布】

木曾川、庄内川の砂地の河川敷や、西尾市、豊橋市の海浜などで記録されている。

【国内の分布】

本州、四国、九州、対馬、屋久島。

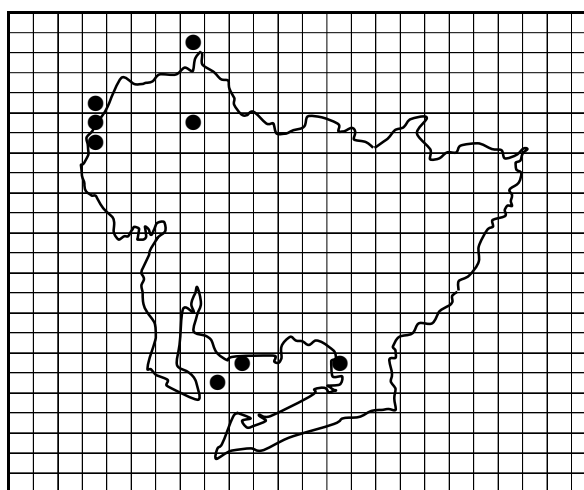
【世界の分布】

日本固有種。

【生息地の環境／生態的特性】

砂丘の見られる海浜や、河川敷で砂地の多い地域に見られる。夏期に発生し地中に営巣する。

県内分布図



【現在の生息状況／減少の要因】

河川敷内や海岸の砂地が少なくなり、生活の場を追われている。

【保全上の留意点】

河川敷や海浜の保全が必要。車両の乗り入れなどを自粛し、自然な砂浜の再生を考慮する。

(2009年版を一部修正)